

『麻機遊水地調査隊』の活動

静岡県立静岡北特別支援学校では、麻機遊水地の自然環境を保全、再生、維持管理を進めるために、麻機遊水地をフィールドとして地域との協働した多様な教育活動を展開しています。

その活動の一つとして、高等部 1 年生では総合的な学習の時間に「麻機遊水地調査隊」を立ち上げ、麻機遊水地について調べたいことのテーマ別に分かれ、調べ学習を行ったり、外部講師によるレクチャーを受けたりして、活動に取り組んでいます。生徒がこの活動に取り組むことにより、「自然を守る」「地域を守る」という気持ちを育てるとともに、自ら学び、自ら考え、主体的に判断する力を身につけ、生活の幅を広げていくことを期待しています。

① 4～7月の活動

麻機遊水地の中でも、学校に一番近い第3工区について、テーマに分かれて調べました。「動物、鳥、魚、昆虫、植物、歴史・文化、地図」の7つのグループに分かれ調査隊の活動がスタートしました。

動物グループ

遊水地に生息する動物をインターネットで検索し、カヤネズミについて調べることにしました。実際にカヤネズミに会うことはできませんでしたが、巣の模型を作ったり生活の仕方を調べたりしました。

■制作したカヤネズミの巣の模型と発表会での様子



鳥グループ

遊水地を散策しながら、野鳥を見つけた際に写真撮影を行うと、遊水地に野鳥がたくさんいることを知りました。また、遊水地の野鳥パンフレットを活用しながら「鳥図鑑づくり」も進めています。

■現地観察の様子と、生徒が撮影した遊水地で見つけた野鳥の写真



魚グループ

遊水地や遊水地周辺の水辺を散策しながら、魚類調査を行いました。インターネットを活用し、遊水地に生息する魚類を調べたり、魚の模型作りなども行ったりしています。

■現地調査の様子と、魚の模型作りの様子



昆虫グループ

遊水地に生息する昆虫を捕まえ、昆虫図鑑やインターネット活用しながら昆虫調査を進めています。成虫だけでなく、幼虫や水棲昆虫などについても調査をしています。

■現地調査の様子と、撮影した昆虫



植物グループ

遊水地に生育する植物の写真撮影を撮影や、植物を採取し標本作りをしました。また、インターネットや遊水地の植物パンフレットを活用して、その植物の種類も調べています。

■現地調査の様子と、採取した植物標本、撮影した植物



歴史・文化グループ

遊水地ができた理由や仕組み、沼のばあさんの伝説など、テーマを決めて取り組みました。静岡土木事務所の講義や遊水地のパンフレットから遊水地に関する歴史文化をまとめることができました。

■沼のばあさんの紙芝居と発表の様子



地図グループ

遊水地の大きな地図を作ろうと、各グループの友達に「おすすめポイント」を聞いて回りました。そして、実際に遊水地も歩くことで取材をし、模造紙2枚分の大きな地図を作ることができました。

■遊水地の調べ学習と発表の様子



<4~7月の生徒の感想>

- ・遊水地をきれいにすれば、いっぱい生きものがすめる環境になると思いました。
- ・遊水地には知らない鳥や魚や植物がたくさんあることを知りました。これから図鑑を使って遊水地に住んでいる動植物について調べたいです。虫グループは、クイズ形式で発表したり、地図グループはただの地図ではなく、みんなが楽しめる地図を作っていました。
- ・僕は作業が遊水地だったので、いろんな動物や植物を調べていたと思ったのに、発表を聞いて僕が知らない植物や動物がいっぱいいたのでびっくりしました。
- ・今日の発表会では、色々なグループの発表を聞きました。麻機遊水地がどれだけ色々な人に守られているか、今日の発表を聞いてわかりました。僕ができる事は、同じ麻機にすんでいるから、これから僕も遊水地を守らなければいけないと思いました。
- ・今日の発表会で、麻機遊水地には色々な生きものがいて、僕の好きな妖怪伝説もあり、麻機遊水地について興味を持ちました。いつか麻機妖怪伝説、沼のぼあさんがまつられている諏訪神社に行ってみたいです。
- ・七夕豪雨の話は怖かったです。もう起きないように協力したいです。

<生徒のエピソード>

麻機遊水地調査隊の活動を通して、生徒たちの日常生活にも変化があらわれました。

■エピソード1

魚グループのU君は、釣りの大好きな男子です。活動の中で遊水地に魚がいることに興味を持ち、休日も遊水地に出かけることがありました。その日には残念ながらU君の手で魚が釣れませんでした。そのときに多くの釣り人を見かけたため、「釣り人がいるならば、ここに絶対魚がいる」と確信ができたそうです。その後、U君はグループ活動に積極的に取り組むようになりました。

■エピソード2

S君は活動を進めるうちに、遊水地の様々なことに興味を持ちました。ある日の休み時間に学校の3階廊下の図書コーナーから静岡の歴史や遊水地の記事が載っている本を見つけました。その後、クラスに本を持って戻り、周囲の友達と休み時間に遊水地の話をして過ごすことがありました。

■エピソード3

Nさんは、静岡土木事務所の講義を聞き、遊水地の七夕豪雨について知りたいと感じ、家に帰ると母親と七夕豪雨の話をしました。翌日、そんな家族の団らんが連絡帳を通して母親から学級担任へと伝えられました。

② 9～12月の活動

「動物、鳥、魚、昆虫、植物、歴史・文化、地図」の7つのグループはそのままに、メンバーを再編成して活動再開です。今度は第3工区以外も調べに出掛けました。

動物グループ

カヤネズミに会いたい！と、遊水地だけでなく、周辺の散策にも出かけました。周辺農家の方の話を聞いたり、自分たちで調べたりする中で、遊水地にいくつかのカヤネズミの巣を発見できました。

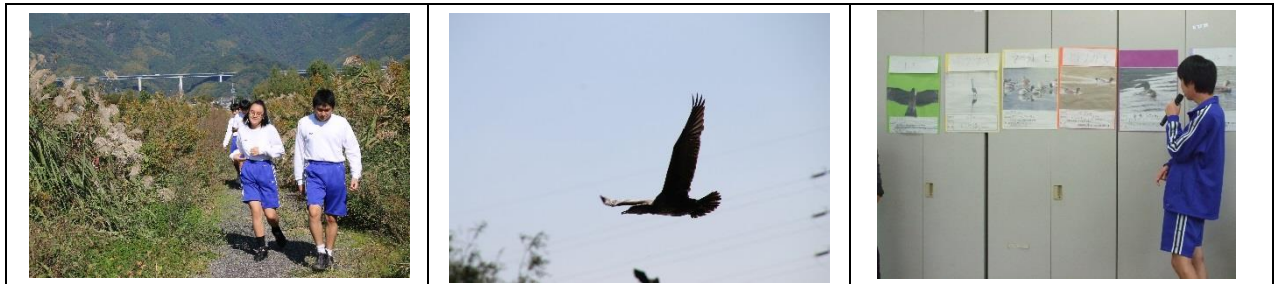
■周辺農家への取材と、見つけたカヤネズミの巣



鳥グループ

遊水地を何度も散策しながら、たくさんの鳥を撮影し、どのような鳥がいるのかをまとめました。発表会では「鳥の名前当てクイズ」を楽しく行い、遊水地に住む鳥の特徴について友達に紹介しました。

■現地観察の様子と、発表会でクイズを行う様子



魚グループ

遊水地に魚がいることを確かめるために、ペットボトルの仕掛けや釣竿を作り、魚を捕まえることにしました。また、地域の専門家による「柴あげ漁」や遊水地の生き物についての講義も受けました。

柴あげ漁の講義 →



■仕掛け作りや釣りの様子



昆虫グループ

遊水地を散策し、たくさんの昆虫の写真を撮ったり、実際に捕まえて観察をしたりしました。発表会では捕まえた昆虫を紹介しながら、その特徴や季節ごとの違いなどについて伝えることができました。

■現地調査の様子と、撮影した昆虫



植物グループ

たくさんの植物を採取し、秋の植物の種類と特徴を調べ、植物図鑑を作りました。また、学校が休校になるほどの被害の台風18号の影響についても調べ、遊水地の働きや価値についても確認しました。

■現地調査の様子と、撮影した植物



歴史・文化グループ

「麻機遊水地の食文化を探ろう！」をテーマに農家の方から麻機れんこんの話を知ったり、れんこんを分けていただいたりしたことで、収穫方法、調理の仕方等、麻機れんこんへの理解を深めました。

■麻機れんこんの収穫取材の様子



地図グループ

これまでの活動で遊水地第3工区の地図を作成したので、次は立体のジオラマ地図を作ることになりました。実際に遊水地を取材しながら素材や表現を工夫し、完成させることができました。

■作成したジオラマと発表会の様子



<9~12月の生徒の感想>

- ・僕は家から遊水地が近いし、学校の時は毎日自転車で第1工区のまえをとるので、天気の良い日は、遊水地の植物や、鳥などを見て、遊水地を大切に守っていきたいです。
- ・遊水地は地域の宝物である事を知り、しぜんをこわさないようにきょうりょくしたいと思います。遊水地にすんでいる昆虫や魚などのいきものをいじめたりきずつけたりしないようないきものをいじめない遊水地の姿になってほしいです。
- ・お花がたくさんさいてほしいです。遊水地には、花がいっぱいのほうがいいと思います。なぜかと言うと、たくさんさいたほうがちいきの人たちもよろこぶと思います。
- ・生物が元気にいられたり、自然がきれいな環境だったりと言うことがいいなと思います。遊水地がきれいだと、自然も生き物も生物なども美しくなると思います。
- ・遊水地は、いろいろな花とかしょくぶつがいっぱいあってきれい。きたなかったら、みんなでそうじとか、みんなでまもりたい。
- ・遊水地にくるとりがもうすこしふえてほしいです。遊水地にごみがあるので、ごみをなくしてとりがたくさんきてほしいです。
- ・もっと魚がふえ魚が安全にくらせるようキレイな遊水地になってほしい。誰もが来て楽しめるスポットにして生物が多くせいそくししょくぶつまんさいになってほしい。
- ・これからの遊水地の姿について感じたことは、きれいな遊水地にしたいと思います。ゴミとかをへらすようにします。
- ・遊水地にゴミが出ないようにゴミをなくしたい。なので、ボランティアさんたちをあつめて、遊水地をそうじしてキレイにしたいです。
- ・遊水地は、第1こうくから第5こうくまであるので、遊水地の道に、第1こうくまでのきょりをかんばんを立てればよいと思っています。遊水地にある池などに、魚がいるとしたら、その近くにどんな魚がいるのか、かんばんに書いて、立てればよいと思いました。遊水地は、いろんな魚や鳥、植物(花)、昆虫がいて、自然がいろいろある所で、いいと思いました。
- ・遊水地に対して感謝している事は、大雨が降ったら街に被害がなくなることです。理由は七夕豪雨で川の水が溢れて町が沈んでしまいましたが、麻機遊水地が造られたおかげで、川の氾濫が防がれ、被害がなくなる事と感じたからです。これからは遊水地にゴミを捨てる人が少なくなるようになったらいいと思う時もあります。遊水地にゴミなどを捨てると、住んでいる生き物が死んでしまって、せっかくの自然が壊れてしまうからです。なので、これからはゴミを捨てる人を少なくする看板などを立てていくようにしたいなと思います。
- ・さいがい昔あり、そのさいがいこそ七夕ごう雨のことで、とても大変にみえました。これからも遊水地を大切にしていきたいとねがっています。
- ・遊水地について、自然が多く、生き物もたくさんいます。そんな遊水地にぼくはあこがれをもちました。ぼくの知らない動物がいて、ゆたかで美しいので、これからもずっとこの緑の美しさをたもってほしいと思っています。
- ・1000年後でも遊水地があるといいです。